春野中だより

〈教育理念〉　自他共愛
〈学校教育目標〉・明るく・豊かに・たくましく

令和６年度　第１１号
令和７年３月３日（月）発行
さいたま市立春野中学校
〒337-0002 見沼区春野 2-2-1
TEL 682-3951　FAX 682-3952

「変化に対応できる力」

校 長　永 谷　和 俊

早いもので、令和６年度も最後の月となりました。３年生にとっては中学校生活最後の月です。「初心忘るべからず」とよく言いますが、４月にはそれぞれの思い、いわゆる初心を持っていたと思います。そして、この１年間はいかがだったでしょうか。できたこと、できなかったこと、やったこと、やらなかったことを振り返り、次年度に向けて新たな目標（初心）を設定し、新年度を迎えていただきたいと思います。私も、本校の経営方針や運営をはじめ、他の職務や趣味の活動を振り返り、新たな目標を設定していきたいと考えています。

さて、３年生は、いよいよ期待と不安の新しい環境へ巣立っていきます。ここまで立派に成長した皆さんなら大丈夫だと思いますが、進学後、先生の教え方や先輩の態度、友だちとの関係に不満を感じることがあるかもしれません。その結果「やっぱり春野中の方がよかった」と思わないか心配しています。また、自分自身が「自立・自律」せず、相手に理想の態度を求めるのではないか、と心配しています。

人には「現状維持バイアス」と言って、現状を維持しようとする心理的な傾向があります。このバイアスにより、変化や新しい選択肢を避けることが多くなり、現状を維持することが安心感をもたらします。しかし、時にはこのバイアスが新しい機会や成長の妨げになることもあります。「現状維持バイアス」の意識が高すぎると、新しい環境に対応できません。新しい挑戦や変化を歓迎し、未知の領域に飛び込むことを恐れない「成長バイアス」の姿勢が必要です。これから起きる「変化」にどうにか対応していって欲しいと思います。

これからの時代に必要とされる力は、「予測不能な時代をたくましく生きる力」と言われています。知識や技能だけではなく、これから起きる「変化に対応できる力」が求められています。

これからは、良い成績を取ることだけではなく、問題に気づき、それを解決できる力が大切です。具体的には、「問題に気づく力」、「解決する課題を設定する力」、「課題解決に必要な情報を集める力」、「情報を正しく分析し判断する力」、「解決策を考える力」、「解決に向けて実行する力」、「解決策や自分の考えを他者に伝える力」、「コミュニケーション力」などを身に付けることで「問題解決」ができるようになります。

春野中学校では、この「問題解決能力」を育てることに重点を置き、校内研修や授業改善を進めております。今年度、1・2 年生に導入したエナジード教材もその一環です。

繰り返しになりますが、３年生は受験を終え、少しの不安と大きな希望を持って新しい生活を心待ちにしていることと思います。共に過ごし、笑顔と元気をもらっていた皆さんがこの学び舎からいなくなることは、とても寂しい気持ちになります。最前線で皆さんを指導してくれた担任、学年、部活動顧問の先生方は、なおさらだと思います。

しかし、卒業式では皆さんの門出を笑顔で祝い、笑顔で見送りたいと思います。改めて、皆さんのご卒業を心よりお祝い申し上げます。新しい環境に飛び込む皆さんの未来が明るく希望に満ちたものであることを祈っています。困難に直面しても、これまでの経験を活かし、自分らしく歩んでいってください。

３年生の保護者の皆様、３年間にわたる温かいご支援とご協力に心から感謝申し上げます。皆様のご家庭に幸せと健康が訪れますようお祈りいたします。

春野中学校の教職員一同、これからも皆さんの活躍を応援しています。